

# 小学校プログラミング教育実施レポート

学習活動名	音楽「リズムをつくってアンサンブル」
学年	小学校第4学年
目標	打楽器の音色や音楽のしくみを生かして、リズムアンサンブルをつくることができる。
教材タイプ	C Sアンプラグド
使用教材	各種打楽器
環境	提示用大型テレビ、録画用 i P a d (1グループ1台)、話し合い用ワークシート (1グループ1台)、自分の担当打楽器のリズムシート (1人1枚)
都道府県	鳥取県
実施校	鳥取市立醇風小学校
学習活動の概要・ 児童の様子	<p>1 本時の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで話し合いながら、楽器の特徴を生かしたアンサンブルをしよう。</li> </ul> <p>2 学習活動</p> <p>※前時までに、自分の担当する楽器を決め、その楽器の8拍のリズムを作成している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の担当するパートを話し合いで決めていく。(グループ)</li> <li>・アンサンブルの中の自分のパートを修正しながら練習をすることでよりよりアンサンブルをつくる。(グループ)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>&lt;児童の様子&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の担当するパートのことだけでなく、アンサンブル全体の構成について話し合われており、ねらいに迫る話し合いが活発に行われていた。</li> <li>・グループのアンサンブル成功のために、自分の担当楽器の練習を積極的に行っている姿が見ら</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表。(全体)</li> <li>・学習を振り返る。(個人・全体)</li> </ul>
成果と課題	<p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで一つのを完成させるための自分の役割が明確であり、それぞれが責任をもって活動に取り組むことができた。</li> <li>・自分の担当するパートやその量だけでなく、繰り返す、楽器を増やして盛り上げる等のアンサンブルの全体像が可視化されるため、グループの話し合いを深めることができた。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりイメージ通りのアンサンブルを作成するための1つの方法として、試行錯誤が容易にできるコンピュータを活用することも考えられる。</li> <li>・今後はコンピュータを用いたプログラミング教育にも取り組んでいく。</li> </ul>

